

令和2年度業務報告と

ZOOM UP

決算承認



令和3年7月下旬に開催を予定していた「令和3年熊本県国民健康保険団体連合会通常総会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面での開催となり、7月21日付け熊国保連発第209号にて、県内国保保険者（会員）に議案書を送付し、書面による表決を依頼しました。提出された議案は全て原案どおり可決、承認されました。

報告事項

報告第1号	令和3年度熊本県国民健康保険団体連合会特別会計歳入歳出予算の補正
報告第2号	熊本県国民健康保険団体連合会規則の一部改正

議決事項

議案第1号	令和2年度熊本県国民健康保険団体連合会業務報告の認定
議案第2号	令和2年度熊本県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算の認定
《以下、議案第3号～12号は令和2年度特別会計歳入歳出決算の認定》	
議案第3号	国民健康保険関係事業特別会計（業務勘定）歳入歳出決算の認定
議案第4号	同上（支払勘定）歳入歳出決算の認定
議案第5号	同上（抗体検査等支払勘定）歳入歳出決算の認定
議案第6号	後期高齢者医療関係事業特別会計（業務勘定）歳入歳出決算の認定
議案第7号	同上（支払勘定）歳入歳出決算の認定
議案第8号	介護保険関係事業特別会計（業務勘定）歳入歳出決算の認定
議案第9号	同上（支払勘定）歳入歳出決算の認定
議案第10号	障害者総合支援法関係業務等特別会計（業務勘定）歳入歳出決算の認定
議案第11号	同上（支払勘定）歳入歳出決算の認定
議案第12号	特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出決算の認定
議案第13号	令和3年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算の補正

📌 令和2年度業務報告

【審査関係】

本会の基幹業務である診療報酬審査支払業務に関しては、当該事業の高度化、効率化を図り、医療費適正化を推進。

- ◆ コンピュータチェックの公開では、審査の透明性の更なる向上などを目的に、令和2年度の報酬改定を反映した85,562事例を公開するとともに、コンピュータチェック項目の精査と拡充を行いました。
- ◆ 職員の資質向上のため、審査委員による専門研修等を受講し、審査事務共助力の充実・強化を図りました。

【保険者支援関係】

保険者が行う保健事業をより効果的、効率的に行われるように支援。

- ◆ KDBシステム、保険者データヘルス支援システムを用い、分析・統計資料の作成や学習会を行うとともに、データヘルス計画の中間評価に係る資料提供や研修会を行いました。
- ◆ 『国保・保健主管課長・担当者合同研修会』では、新潟県上越市副市長の野澤朗氏を講師に「医療費、介護費を削減する健康づくり活動を市民活動に～健診から始まる健康づくり～」と題して、専門職の力量形成、事務職の意識改善並びに部局横断的な役割分担の重要性などについて講演いただきました。

【システム関係】

オンライン資格確認等システムの導入を確実かつ円滑に実施するための支援。

- ◆ 令和3年3月から予定されていたオンライン資格確認が令和3年10月に延期されましたが、市町村国保システムから出力される資格情報を各種システムへの連携、登録するため、各システム間の連携及びセットアップを実施しました。

【事務局運営関係】

危機管理の取り組みや人材育成など、事務局業務運営の効率化等を実施。

- ◆ 情報セキュリティ対策では、3年に1度のISMS更新審査を受審し、審査委員からISO27001規格の要求事項に適合していると認定され、更新が認められました。
- ◆ 人材育成においては、職員の資質向上を図るため、各種研修会を開催（参加）しました。

【令和2年度緊急対応業務】

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、診療報酬等が激減した医療機関等の資金繰りを支援するため、診療報酬等の概算前払いを実施しました。
(件数15件 金額3,573万8,000円)
- ◆ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業等に係る医療従事者等への慰労金及び感染拡大防止等のための支援金の支給事務を実施しました。
(慰労金受付7,179件・支援金受付7,909件)
- ◆ 令和2年7月豪雨災害に係る被災者の既往歴情報等を医療従事者から求められた場合の情報提供(件数29件、93名分)やインスリン等の服用が不可欠な被保険者を抽出し被災市町村へ提供しました。(11市町村(相良村、球磨村へは持参))

令和2年度決算状況

(単位：円)

会計名		歳入額	前年度比	歳出額	前年度比	歳入歳出差引額
一般会計		14,795,076,972	4489.2%	14,750,444,936	5283.4%	44,632,036
国民健康保険関係事業 特別会計	業務勘定	1,463,657,215	100.7%	1,379,904,239	107.2%	83,752,976
	支払勘定 (診療報酬)	153,857,080,761	97.4%	153,836,059,763	97.4%	21,020,998
	支払勘定 (風しん)	202,685,227	168.6%	202,685,227	168.6%	0
後期高齢者医療関係事業 特別会計	業務勘定	1,510,183,732	96.9%	1,329,087,587	100.2%	181,096,145
	支払勘定	272,573,411,886	97.4%	272,568,236,734	97.4%	5,175,152
介護保険関係事業 特別会計	業務勘定	851,865,294	90.7%	637,644,516	90.1%	214,220,778
	支払勘定	170,238,035,467	101.7%	170,236,840,869	101.7%	1,194,598
障害者総合支援法関係 業務等特別会計	業務勘定	128,896,750	100.2%	85,352,774	101.7%	43,543,976
	支払勘定	49,655,541,730	106.3%	49,654,516,708	106.3%	1,025,022
特定健康診査・特定保健指導等事業 特別会計		1,313,011,163	88.9%	1,308,171,883	89.1%	4,839,280
合計		666,589,446,197	101.3%	665,988,945,236	101.3%	600,500,961

各特別会計〈業務勘定〉：各種手数料収入を基に、審査支払・共同電算等の事業を経理

〈支払勘定〉：診療報酬、介護給付費等の保険者からの受入金を基に、診療報酬等を医療機関及び介護サービス事業所等に支払うための勘定を経理

令和2年度決算の合計額は、歳入歳出ともに前年比101.3%で、歳入歳出差引額600,500,961円（高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金（指定公費）に係る返還金2,181,325円を含む。）は全額を翌年度に繰り越します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業等に係る医療従事者等への慰労金等の支給業務に係る費用、約145億円を一般会計で経理したため、一般会計の決算額が大幅に増加しています。特別会計（支払勘定）における前年度比の主な減少要因は新型コロナウイルス感染症感染拡大による受診控えの影響となります。